

〔論 文〕

# 2009年度 学生生活アンケートにおける 阪南大学新入生の心理的特徴について<sup>1)</sup>

梶 山 国 宏 崎 濱 秀 行  
大 西 見 也 子 辻 本 歌 織

## 1 問題と目的

近年、大学への進学率は約50%に達し、大学全入時代を迎え、学生の進学理由も多岐にわたっている。教育の機会を十分に与えられることは好ましいことではあるが、「みんなが行くから」とか「親にすすめられて」というような理由で、本人はあまり望んでいないのに大学進学を選択する学生も少なくない。また2006年以降入学した、学習内容を大幅に削減した新学習指導要領のもとで教育を受けた新入生の学習面における課題も看過できない。そのため入学する学生の多様化が進み、進学目的・学力・資質のばらつき、社会的経験の希薄さなどが指摘されるとともに、不登校・引きこもり・中退・卒業後にフリーターやニートとなる若者の問題等、さまざまな支援を必要とする学生が増え、内容的にも深刻な問題がしばしば報告されるようになっている（日本学生支援機構，2007）。そして多くの大学において、学生に対するサポートのあり方が検討されている。

同様の動きは本学においてもみられ、身体的・精神的問題にとどまらず、さまざまな課題を抱える学生が散見される。その中には休学や退学する者も存在し、このような学生（離学対象者）への支援が大きな課題の一つになっている。学生相談室では、このような離学対象者への支援の一環として2006年度より新入生を対象としたアンケート（UPI<sup>2)</sup>＜University Personality Inventory＞：大学生における精神身体上の諸問題を把握するために幅広く用いら

れている尺度）を行っている。そして、回答結果に基づき、必要に応じて呼び出し面接を行うなど、課題の早期発見や早期介入などの予防的関わりを試みている。

本研究では、2009年度アンケート調査の結果を踏まえ、本学新入生が大学生活を開始するにあたっての心身の健康状態や心理的特徴についてカウンセラーの視点から検討することを目的とする。

## 2 方法

### (1)調査対象

対象は2009年度 本学入学者1287名（男子917名，女子370名）。回答数786名，回収率61%であった。

### (2)学生生活アンケートについて

アンケート（UPI）は4月の新入生ガイダンスにおいてマークシート方式で行った（項目内容は資料参照）。回答は5件法により、各項目について「あてはまる」を5点、「まあまああてはまる」は4点、「どちらでもない」は3点、「あまりあてはまらない」は2点、「あてはまらない」は1点として換算した。

### (3)手続き

本アンケートは新入生ガイダンスにおいて行われた。まず、新入生にアンケート用紙とマークシートを配布した。つづいて個別に調査用紙へ回答してから、その後マークシートへ転記す

るよう求めた。教示は以下のとおりである。「これはあなたの心身の健康状態を理解して、より充実した学生生活を送ることができるよう支援するための調査です。プライバシーには十分な配慮をいたしますので、思う通りに回答して下さい。（以下板書）自分にあてはまるには⑤、まあまああてはまるは④、どちらでもないは③、あまりあてはまらないは②、あてはまらないは①の欄にマークをしてください」。記入時間は約20分であった。

3 結果と考察

全体、学部別、男女別でアンケート回答率（回答者のうち、当該項目において「5：あてはまる」または「4：まあまああてはまる」を選択した者の割合）上位10項目を表1から表8に示した。また上位10項目への回答率をグラフにまとめたものが図1～図10である。さらに離学に関する3つの項目への回答率を表9に示し、各々について考察する。

(1)新入生全体の回答結果

新入生全体の回答の集計結果を表1にまとめた。全体に肯定的な内容の項目が上位を占めており、項目36「将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい」が1位であった。つづい

て項目5「これからの大学生活を楽しみにしている」、項目1「この大学に入学が決まったときうれしかった」などの回答率が高いことから、大学生活への期待感がうかがわれる。項目29「親との関係はうまくいっている」の回答率も比較的高い順位にあり、さらに項目30「大学のクラブやサークルに入りたい（入った）」といった新しい対人関係への拡がり示唆する回答も多くみられた。また項目7「困ったときにはいつも味方になってくれる人がある」と、何らかの問題に直面した場合に、精神的な支えを有していることが示され、良好な対人関係を形成・維持することが可能であるものと推察される。その他、項目32「異性や恋愛への関心がある」項目33「夢中になってできるような好きなことがある」など、青年期に特徴的な心理を表す項目もみられた。

(2)男女別の回答結果

男女別においては（表2・表3参照）、男子は全体の分析結果とほぼ同順位となっている。いっぽう女子においては、全体の分析結果とはかなりの違いがみられ、上位項目のうち2項目が入れ替わっている。すなわち項目17「身体的な健康には自信がある」、項目33「夢中になってできるような好きなことがある」にかわり、項目2「この大学で何を学びたいかはっきりし

表1. 全体 上位10項目

(回答者710名)		「あてはまる」or「まあまああてはまる」		
順位	項目	内 容	人数	回答率%
1	36	将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい	590	83
2	5	これからの大学生活を楽しみにしている	549	77
3	29	親との関係はうまくいっている	527	74
4	1	この大学に入学が決まったときうれしかった	526	74
5	30	大学のクラブやサークルに入りたい（入った）	485	68
6	7	困ったときにはいつも味方になってくれる人がある	457	64
7	32	異性や恋愛への関心がある	454	63
8	33	夢中になってできるような好きなことがある	423	60
9	19	朝起きるのがとてもつらい	405	57
10	17	身体的な健康には自信がある	393	55

表 2. 男子 上位10項目

(回答者456名)		「あてはまる」 or 「まあまああてはまる」			
順位	項目	内 容	人数	回答率%	全体順位
1	36	将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい	360	79	1
2	5	これからの大学生活を楽しみにしている	331	73	2
3	29	親との関係はうまくいっている	322	71	3
4	32	異性や恋愛への関心がある	305	67	7
5	1	この大学に入学が決まったときうれしかった	306	67	4
6	30	大学のクラブやサークルに入りたい (入った)	298	65	5
7	33	夢中になってできるような好きなことがある	294	64	8
8	7	困ったときにはいつも味方になってくれる人がある	262	57	6
9	17	身体的な健康には自信がある	252	55	9
10	19	朝起きるのがとてもつらい	252	55	9

表 3. 女子 上位10項目

(回答者254名)		「あてはまる」 or 「まあまああてはまる」			
順位	項目	内 容	人数	回答率%	全体順位
1	36	将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい	230	91	1
2	1	この大学に入学が決まったときうれしかった	220	87	4
3	5	これからの大学生活を楽しみにしている	218	86	2
4	29	親との関係はうまくいっている	205	81	3
5	7	困ったときにはいつも味方になってくれる人がある	195	77	6
6	30	大学のクラブやサークルに入りたい (入った)	187	74	5
7	2	この大学で何を学びたいかははっきりしている	156	61	
8	19	朝起きるのがとてもつらい	152	60	9
9	32	異性や恋愛への関心がある	148	58	7
10	35	この大学でがんばれば自分の希望する職業につけるだろう	147	58	

ている」および項目35「この大学でがんばれば自分の希望する職業につけるだろう」が上位に入っている。以上のことから、女子の場合は将来を視野に入れた明確な目的意識をもって、大学進学を捉えていることがうかがえる。そして男子の場合は、項目32「異性や恋愛への関心がある」、項目33「夢中になってできるような好きなことがある」がより上位となっていることから、大学生活に対して学業や就職だけを目的とするにとどまらず、幅広く楽しむといったモラトリアム的な構えも多分に有するものと考え

られる。

(3)上位10項目に対する各学部の回答結果

①本学入学への満足感および期待感

項目1「この大学に入学が決まったときうれしかった」への回答率(図1参照)は男子が6～7割、女子がほぼ8～9割と男女間に差がみられた。つぎに項目5「これからの大学生活を楽しみにしている」では(図2参照)男子が7～8割、女子が8～9割と男女間の回答率にほとんど差はみられず若干、女子が高い回答率を

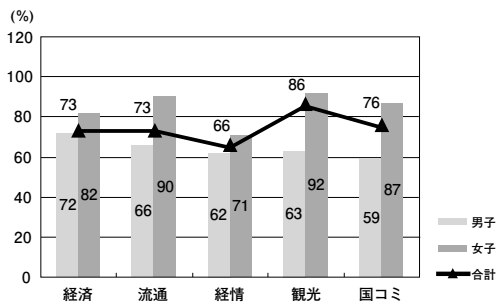


図 1. 項目 1 入学うれしい

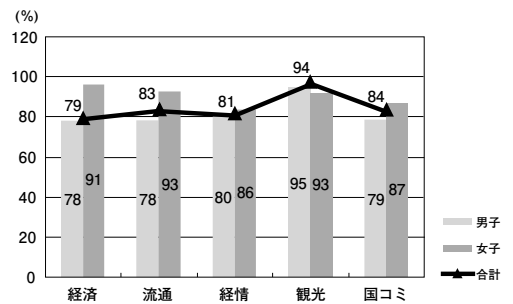


図 3. 項目36 資格への努力

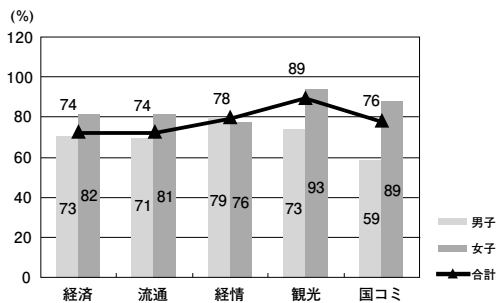


図 2. 項目 5 大学への楽しみ

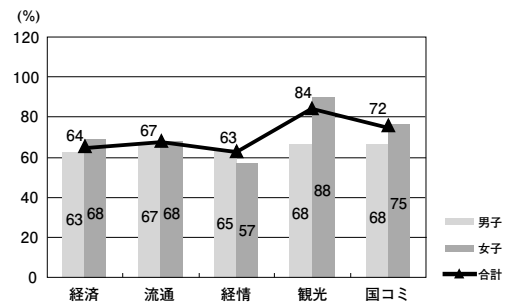


図 4 項目30 クラブ・サークル希望

示し、本学に対して適応感を抱いていることがうかがえる。いっぽう、国際コミュニケーション学部男子は両項目においてもっとも回答率が低く、とくに項目5「これからの大学生活を楽しむにしている」は59%と低い。また経営情報学部女子の回答率が他学部の女子と比べてかなり低い結果となっている。

## ②学生生活

### a. 勉学について

項目36「将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい」(図3参照)は全学部および男女別ともに最上位を占め、8～9割という高い回答率を示している。この結果は、昨今の厳しい就職事情をふまえてのものであると考えられる。

### b. クラブ・サークルについて

項目30「大学のクラブやサークルに入りたい(入った)」(図4参照)では、男女ともほぼ同数の回答率6～7割となっているが、国際観光学科の女子のみ約9割という高い回答率を示し

ている。

### c. 興味や関心のあること

項目32「異性や恋愛への関心がある」(図5参照)では男子の回答率が女子に比べ、やや高めとなっている。ただし、経営情報学部女子は33%とかなり低い回答率で、他学部女子の約半数であった。項目33「夢中になってできるような好きなことがある」(図6参照)では男女間に大きな差がみられ、男子の回答率が約6～8割、女子が約4～6割である。流通学部の男女を合わせた回答率は5割と全体でもっとも低かった。

### d. 家族との関係について

項目29「親との関係はうまくいっている」(図7参照)は全学部とも高めの回答率で、男子が6～7割、女子が7～8割となっている。本学の新入生は、安定した家族関係により、大学という新しい環境のなかで生じるであろうさまざまな不安や緊張感を乗り越え、学生生活を快適に過ごすことが期待される。

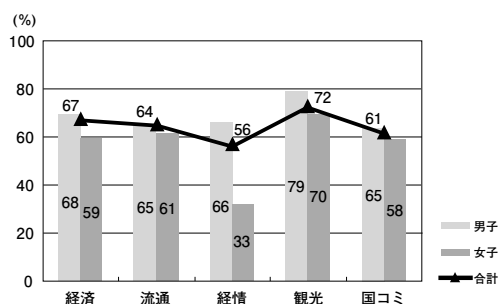


図 5. 項目32 異性・恋愛への関心

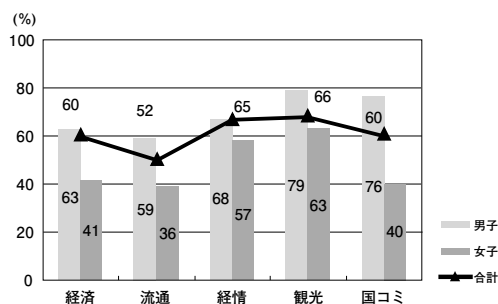


図 6. 項目33 夢中になれる

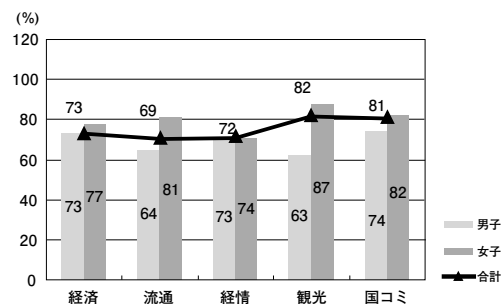


図 7. 項目29 親との関係よい

### ③健康

#### a. 心身への自覚症状について

項目17「身体的な健康には自信がある」(図8参照)および項目19「朝起きるのがとてもつらい」(図9参照)における回答率は学部による違いがもっとも顕著に表れたといえる。項目17「身体的な健康には自信がある」では学部ごとの回答率が約4～6割の間にあるが、国際コミュニケーション学部に関しては男子29%、女

子42%と、男女ともに低い結果となっている。また項目19「朝起きるのがとてもつらい」では男子の回答率が約5割であるのに比べ、女子の回答率が6～7割と高い。なかでも、経営情報学部女子は71%ともっとも高く、国際コミュニケーション学部男子68%が続いて高い。いっぽう、国際観光学科男子は32%と低かった。

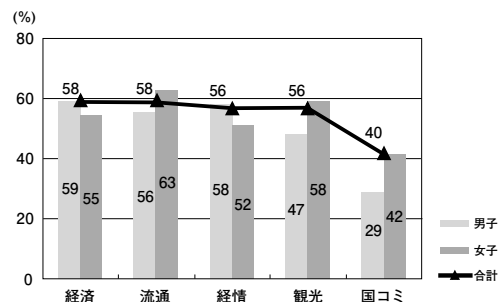


図 8. 項目17 健康に自信あり

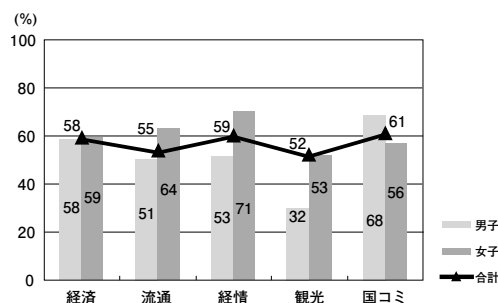


図 9. 項目19 起床がづらい

#### b. 相談相手について

項目7「困ったときはいつも味方になってくれる人がある」(図10参照)においても学部間でのバラツキがみられた。全体的な回答率として、男子に比べ女子が高かった。国際観光学科女子の回答率は91%と、もっとも高かった。いっぽう経営情報学部に関しては男子50%、女子60%と、ともに回答率が低かった。

### (4)各学部の心理的特徴

以上の分析結果に基づき、各学部に関する心理的特徴について検討を加える。

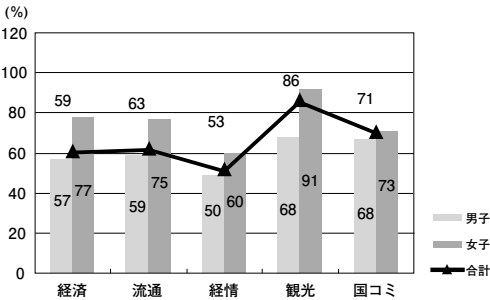


図10. 項目 7 味方の人あり

①経済学部（表 4 参照）

上位10項目のうち、項目36「将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい」では男子の回答率が78%、女子が91%と高く、将来に向けて就職に関連のある勉学への意欲が高いことが示唆される。つづいて項目5「これからの大学生活を楽しみにしている」および項目1「この大学に入学が決まったときうれしかった」における回答率は男子が7割、女子が8割とともに高く、本学に対する適応感や期待を抱えていることがうかがわれる。さらに項目30「大学のクラブやサークルに入りたい（入った）」の回答率は男女とも60%台となっており、新しい対人関係や活動への参加に意欲がみられる。項目32「異性や恋愛への関心がある」では男子の回答率が68%、女子が59%、項目33「夢中になってできるような好きなことがある」では男子の

回答率が63%、女子が41%と男子が女子を上回り、勉学以外の面で学生生活を謳歌したい気持ちが示唆される。いっぽう、心身の健康に関する項目17「身体的な健康には自信がある」および項目19「朝起きるのがとてもつらい」においては男女とも回答率が約60%で、他学部とほぼ同率であった。項目7「困ったときにはいつも味方になってくれる人がいる」では女子の回答率が77%と男子の57%を上回り、項目29「親との関係はうまくいっている」は男女とも7割の回答率で、安定した対人関係を有していることがうかがわれる。いっぽう、離学に関する項目（表9参照）への回答率は、項目16「生きていても今後よいことはあまりないだろうと思う」が10.7%（男子9.8%、女子18.2%）、項目18「死んでしまいたいと思いつめることがある」は8.7%（男子6.9%、女子22.7%）であるが、それに比べて退学希望（項目6）は5.1%とあまり高くはなかった。

②流通学部（表 5 参照）

流通学部の回答率は、全体の回答率とほぼ同一であり、また男女差はあまりみられなかったが、流通女子が他学部の女子のなかでは全体に高い回答率を示していた。ただし上位10項目のうち、1項目のみ入れ替わりがみられた。すなわち項目33「夢中になってできるような好きな

表 4. 経済学部 上位10項目

(回答者196名)					「あてはまる」 or 「まあまああてはまる」		(男子174名)		(女子22名)	
順位	項目	内 容	人数	回答率%	全体順位		人数	回答率%	人数	回答率%
1	36	将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい	155	79	1		135	78	20	91
2	5	これからの大学生活を楽しみにしている	145	74	2		127	73	18	82
3	1	この大学に入学が決まったときうれしかった	144	73	4		126	72	18	82
4	29	親との関係はうまくいっている	144	73	3		127	73	17	77
5	32	異性や恋愛への関心がある	131	67	7		118	68	13	59
6	30	大学のクラブやサークルに入りたい（入った）	125	64	5		110	63	15	68
7	33	夢中になってできるような好きなことがある	118	60	8		109	63	9	41
8	7	困ったときにはいつも味方になってくれる人がいる	117	59	6		100	57	17	77
9	17	身体的な健康には自信がある	115	58	10		103	59	12	55
10	19	朝起きるのがとてもつらい	115	58	9		101	58	13	59

表 5. 流通学部 上位10項目

(回答者190名)			「あてはまる」 or 「まあまああてはまる」			(男子131名)		(女子59名)	
順位	項目	内 容	人数	回答率%	全体順位	人数	回答率%	人数	回答率%
1	36	将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい	157	83	1	102	78	55	93
2	5	これからの大学生活を楽しみにしている	141	74	2	93	71	48	81
3	1	この大学に入学が決まったときうれしかった	140	73	4	87	66	53	90
4	29	親との関係はうまくいっている	132	69	3	84	64	48	81
5	30	大学のクラブやサークルに入りたい (入った)	128	67	5	88	67	40	68
6	32	異性や恋愛への関心がある	122	64	7	85	65	36	61
7	7	困ったときにはいつも味方になってくれる人がある	121	63	6	77	59	44	75
8	31	アルバイトをしないと生活が苦しい	119	62		80	61	39	66
9	17	身体的な健康には自信がある	110	58	10	73	56	37	63
10	19	朝起きるのがとてもつらい	105	55	9	67	51	38	64

ことがある」にかわって、項目31「アルバイトをしないと生活が苦しい」の回答率が男女とも60%台と高く、興味のあることよりもアルバイトといった現実的な活動が優位にあることが大きな特徴といえる。また項目17「身体的な健康には自信がある」および項目19「朝起きるのがとてもつらい」における回答率は、全学部平均と同率であった。さらに項目36「将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい」への回答率は男子78%、女子93%となっており、就職関連の勉学に対する高い関心が示される。回答率に差がみられたのは項目1「この大学に入学が決まったときうれしかった」においてであり、男子が66%、女子90%と女子の大学に対する適応感が非常に高かった。その他、項目30「大学のクラブやサークルに入りたい(入った)」および項目32「異性や恋愛への関心がある」への回答率は、男女とも6割であった。項目7「困ったときにはいつも味方になってくれる人がある」および項目29「親との関係はうまくいっている」においては男子の回答率が約6割、女子が約8割と高く、対人関係における安定感がうかがわれる。いっぽう離学に関する項目(表9参照)への回答率は、項目16「生きていても今後よいことはあまりないだろうと思う」7.9% (男子9.2%, 女子5.1%), 項目18「死んでしまいたいと思いつめることがある」12.1% (男

子9.9%, 女子16.9%) と高いが、退学希望(項目6)への回答率は4.2%と高くなかった。

③経営情報学部 (表6参照)

他学部と同様に、経営情報学部の男女ともに項目36「将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい」への回答率は8割と高く、就職につながる勉学に対して意識の高いことが示唆される。いっぽう上位項目に関する分析において述べたとおり、女子においていくつかの項目に特徴がみられた。項目5「これからの大学生活を楽しみにしている」および項目1「この大学に入学が決まったときうれしかった」への回答率が男子は各々79%、62%と全体の回答率とほぼ同一であるいっぽうで、女子はどちらも7割と、他学部の女子に8～9割の回答率がみられるなか、その差がやや目立つ結果となっている。また項目30「大学のクラブやサークルに入りたい(入った)」および項目32「異性や恋愛への関心がある」においては回答率が男子は60%台と全体の回答率とほぼ同一であるが、女子は各々57%、33%と全学部女子のなかでもっとも低かった。以上のことから、経営情報学部女子の傾向として、就職に対する資格取得には関心が高いが、大学への適応感や期待はあまり高くなく、学生生活においては積極性に乏しいことが考えられる。また項目7「困ったときに

表 6. 経営情報学部 上位10項目

(回答者140名)		「あてはまる」 or 「まあまああてはまる」				(男子98名)		(女子42名)	
順位	項目	内 容	人数	回答率%	全体順位	人数	回答率%	人数	回答率%
1	36	将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい	114	81	1	78	80	36	86
2	5	これからの大学生活を楽しみにしている	109	78	2	77	79	32	76
3	29	親との関係はうまくいっている	101	72	3	72	73	31	74
4	1	この大学に入学が決まったときうれしかった	92	66	4	61	62	30	71
5	33	夢中になってできるような好きなことがある	91	65	8	67	68	24	57
6	30	大学のクラブやサークルに入りたい (入った)	88	63	5	64	65	24	57
7	19	朝起きるのがとてもつらい	82	59	9	52	53	30	71
8	17	身体的な健康には自信がある	79	56	10	57	58	22	52
9	32	異性や恋愛への関心がある	79	56	7	65	66	14	33
10	7	困ったときにはいつも味方になってくれる人がいる	74	53	6	49	50	25	60

はいつも味方になってくれる人がいる」への回答率は男女ともに低く、5～6割となっており、項目19「朝起きるのがとてもつらい」では女子の回答率が71%と高くなっており、メンタルヘルスの観点から注意を要するものと推察される。さらに離学に関する項目への回答率（表9参照）は、項目6「退学して別の進路に進むかもしれない」が9.3%（男子9.2%、女子9.5%）と他学部に比べて高いことが注目される。

④国際コミュニケーション学部国際観光学科

（表7参照）

国際観光学科の結果は、他学部との違いが多

くの項目でみられる。以下、人数比の関係で男女別に検討を加える。上位10項目は女子の回答率とほぼ同順位となっており、女子に関しては、項目36「将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい」、項目5「これからの大学生活を楽しみにしている」、項目1「この大学に入学が決まったときうれしかった」、項目30「大学のクラブやサークルに入りたい(入った)」への回答率は約9割と本学への適応感や期待感、勉学や学内活動への積極性の高いことが示される。つづいてもっとも特徴的だったのは、項目34「どんな職業につきたいかだいたい考えている」、項目2「この大学で何を学びたいか

表 7. 国際観光学科 上位10項目

(回答者95名)		「あてはまる」 or 「まあまああてはまる」				(男子19名)		(女子76名)	
順位	項目	内 容	人数	回答率%	全体順位	人数	回答率%	人数	回答率%
1	36	将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい	89	94	1	18	95	71	93
2	5	これからの大学生活を楽しみにしている	85	89	2	14	74	71	93
3	1	この大学に入学が決まったときうれしかった	82	86	4	12	63	70	92
4	7	困ったときにはいつも味方になってくれる人がいる	82	86	6	13	68	69	91
5	30	大学のクラブやサークルに入りたい (入った)	80	84	5	13	68	67	88
6	29	親との関係はうまくいっている	78	82	3	12	63	66	87
7	34	どんな職業につきたいかだいたい考えている	74	78		15	79	59	78
8	2	この大学で何を学びたいかはっきりしている	73	77		12	63	61	80
9	35	この大学でがんばれば自分の希望する職業につけるだろう	70	74		11	58	59	78
10	32	異性や恋愛への関心がある	68	72	7	15	79	53	70



はっきりしている」, 項目35「この大学でがんばれば自分の希望する職業につけるだろう」への回答率が約8割と高いことである。これは希望する職業があり, その第一志望の職業に就くために学ぶべきことが意識されているといった本学への進学目的が明確であることを示していると考えられる。さらに項目7「困ったときにはいつも味方になってくれる人がある」, 項目29「親との関係はうまくいっている」も約9割という高い回答率であり, 安定した対人関係がうかがわれる。いっぽう男子に関しては, ほぼ他学部と同様の回答率となっているが, 項目36「将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい」, 項目32「異性や恋愛への関心がある」, 項目33「夢中になってできるような好きなことがある」(回答率79%)において回答率が高くなっており, 就職と学生生活を楽しむことの両立を希望していることが示唆される。いっぽう離学に関する項目への回答率(表9参照)は, 退学希望が男女とも0%, 項目18「死んでしまいたいと思いつめることがある」が10.5%(男子5.3%, 女子11.8%)と女子が高く, 上位項目の結果との乖離が指摘される。このことは, 女子において項目17「身体的な健康には自信がある」に回答しなかった率が5割, 項目19「朝起きるのがとてもつらい」における回答率が5割であることから, 心身の問題を訴える

可能性が高く, その兆候を早期に発見し, 何らかのアプローチへとつなげることが望まれる。

⑤国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科(表8参照)

ここでも男女の人数比の関係上, 男女別に検討を行う。まず, もっとも特徴がみられたのは, 男子の回答率が「身体的な健康には自信がある」で29%と低く, また項目19「朝起きるのがとてもつらい」は68%と高い点であり, ストレスに直面した場合, 身体的自覚症状を訴える可能性が高いことが推察される。また項目5「これからの大学生活を楽しみにしている」, 項目1「この大学に入学が決まったときうれしかった」においては回答率が59%と, 全学部男子の中でもっとも低く, 本学への適応感および期待に乏しいものと思われる。いっぽう, 項目30「大学のクラブやサークルに入りたい(入った)」, 項目32「異性や恋愛への関心がある」, 項目33「夢中になってできるような好きなことがある」など興味・関心への回答率は約7割と高く, 学生生活に対する積極性がうかがわれる。また項目2「この大学で何を学びたいかははっきりしている」への回答率が7割, その他, 項目36「将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい」, 項目29「親との関係はうまくいっている」, 項目7「困ったときにはいつも

表 8. 国際コミュニケーション学科 上位10項目

(回答者89名)		「あてはまる」or「まあまああてはまる」			(男子34名)		(女子55名)	
順位	項目	人数	回答率%	全体順位	人数	回答率%	人数	回答率%
1	36 将来に役立つような資格を取れるようがんばりたい	75	84	1	27	79	48	87
2	29 親との関係はうまくいっている	72	81	3	27	74	45	82
3	5 これからの大学生活を楽しみにしている	69	78	2	20	59	49	89
4	1 この大学に入学が決まったときうれしかった	68	76	4	20	59	48	87
5	30 大学のクラブやサークルに入りたい(入った)	64	72	5	23	68	41	75
6	7 困ったときにはいつも味方になってくれる人がある	63	71	6	23	68	40	73
7	2 この大学で何を学びたいかははっきりしている	62	70		23	68	39	71
8	19 朝起きるのがとてもつらい	54	61	9	23	68	31	56
9	32 異性や恋愛への関心がある	54	61	7	22	65	32	58
10	33 夢中になってできるような好きなことがある	53	60	8	26	76	27	49

表 9. 離学に関する項目で「あてはまる」または「まあまああてはまる」と回答した人数と回答率

	経 済		経 情		流 通		観 光		国コミ		全学部	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
項目 6「退学して別の進路にすすむかもしれない」	10	5.1	13	9.3	8	4.2	0	0	3	3.4	34	4.8
項目16「生きていても今後よいことはあまりないだろうと思う」	21	10.7	11	7.9	15	7.9	4	4.2	3	3.4	54	7.6
項目18「死んでしまいたいと思いつめることがある」	17	8.7	18	12.9	23	12.1	10	10.5	7	7.9	75	10.3
いずれかの項目にチェックした人数	32	16.3	29	20.7	35	18.4	13	13.7	10	11.2	119	16.8

味方になってくれる人がいる」における回答率は7～8割と全体の回答率とほぼ同一で、勉学への意欲が高く、また安定した対人関係を有していることが示唆される。いっぽう女子に関しては、男子と同様に項目17「身体的な健康には自信がある」への回答率が42%と低い。その他、本学への適応感や期待、勉学への意欲に対する回答率は約9割、安定した人間関係が7～8割と高く、また項目2「この大学で何を学びたいかははっきりしている」は男子と並び7割の回答率であった。離学に関する項目への回答率（表9参照）は、項目6「退学して別の進路に進むかもしれない」では3.4%であり、回答した者は男子のみであった。また項目18「死んでしまいたいと思いつめることがある」では7.9%であり、回答者のほとんどは女子であった。

4. まとめ

2009年度UPI学生生活アンケートに関して、回答率の上位10項目を中心にさまざまな観点から検討を行った。とくに目立ったのは、新入生のほぼ全員といえるほど資格取得に関する勉学への意識が高いことであった。また新入生女子の大学進学への目的が非常に明確に意識されていることが大きな特徴といえる。これらは、進学率が上昇しているとはいえ、昨今の不況による経済不安や就職事情の影響が大きいことに関連しているものと考えられる。

いっぽうアンケート結果において、青年期の発達課題が回答率の上位を占めていることから、大学生活が社会へ出て行くための準備期間

あるいは猶予期間として捉えられていることが推察される。すなわち、クラブやサークル活動において社会性を培い、異性関係や恋愛を経験したり、夢中になれることを見つけることで「自分とは何か」といったアイデンティティと向き合うなど、心の成長において欠くことのできない営みが、本学新入生の学生生活において活発に行われうることを示唆している。

さらに身体的自覚症状を訴える可能性がうかがわれ、「朝起きるのがつらい」と訴える学生が全体で6割みられるため、不登校に陥らないよう遅刻の有無や生活リズムへの注意が必要なものと考えられる。ストレスをはじめ、さまざまな心理状態は、身体化されることが多く、小塩ら（2007）は、UPIに含まれる身体的な不調を表す項目と精神的な不調を表す項目は互いに関連しており、入学直後の身体的な不調の自覚が早期退学に関係すると報告し、そのような学生に対して早期に対処することの重要性を示唆している。したがって、新入生の身体的不調に注目することは一つの有用な手段であるものと思われる。

以上、2006年のアンケート開始以後はじめて、本学新入生の心理的特徴について整理し、各学部あるいは性別による特徴の違いを検討することを試みた。今後は、UPIの尺度の構成あるいは尺度の妥当性および信頼性についても検討することが望まれる。それによって、本学における学生のメンタルヘルスに貢献し、学生がより充実した学生生活を送ることができるよう、学生支援に役立てたいと考える。

Oct. 2010 2009年度 学生生活アンケートにおける阪南大学新入生の心理的特徴について

### 注

- 1) 本稿の作成にあたっては、第3著者が執筆した原稿をもとに、全著者が加筆修正を行った。
- 2) 大学生の精神的健康について尋ねる質問紙であり、学生の期待感、対人関係、身体症状などに関する項目および回答者の属性に関する項目の計45項目から構成される。なお、本アンケートは学生相談カウンセラーが実施することから、新入生が学生相談室に対して否定的な印象を抱かないよう項目表記（否定的表現の肯定的表現への置き換え、表記の簡潔化）の変更や項目の精選、追加を行った。

### 引用文献

- 日本学生支援機構（2007） 大学における学生支援体制の充実方策について
- 小塩真司・願興寺礼子・桐山雅子（2007）大学退学者におけるUPI得点の特徴 学生相談研究, 28（2）, 134-141

### 参考文献

- 江口昌克（2006） 大学離学者における入学時UPIの特徴とその予防的関わりについての一考察

CAMPUS HEALTH, 43（1）, 268

- 中藤淳（2004） 愛知県立大学における精神保健の現状と課題（2）愛知県立大学文学部論集, 53, 129-148
- 岡伊織（2006） 大学生精神医学的チェックリスト（UPI）における津田塾大学生の28年間にわたる変化 学生相談研究, 28（3）, 233-242
- 岡伊織（2009）大学生精神医学的（UPI）高得点者の潜在的ニーズ 日本学生相談学会第27回大会発表論文集, p.77

### 謝辞

項目改変にあたって、ご指導ならびにご助言を賜りました吉川茂教授（国際コミュニケーション学部）に深謝いたします。

また、本アンケート調査を行う機会を与え、協力して下さった学生部の方々、データ処理等の作業を行って下さった陸鳳仙氏（元学生相談室カウンセラー）に、心より感謝の意を表したいと思います。

（2010年7月9日掲載決定）

資料 学生生活アンケート

阪南大学・学生生活アンケート2009

阪南大学：学生相談室

このアンケートは、あなたの心身の健康状態を理解して、より充実した学生生活を支援する目的で作成されました。以下の項目を読んで、率直な回答をお願いします。 プライバシーには十分な配慮と保障をいたします。

●氏名

●学籍番号

●ケータイ

●メール・アドレス

@

●[回答のしかた]

5つの段階から当てはまるところの数字を選んで  
マークシートの1・2・3・4・5をマークして  
ください。

	NO!	no	?	yes	YES!		
	1	2	3	4	5		
1 この大学に入学が決まったとき、うれしかった	(	1	2	3	4	5	)
2 この大学で何を学びたいかははっきりしている	(	1	2	3	4	5	)
3 この大学は自分の能力や関心にあっている	(	1	2	3	4	5	)
4 この大学の学生であることを誇りに思う	(	1	2	3	4	5	)
5 これからの大学生活を楽しみにしている	(	1	2	3	4	5	)
6 退学して別の進路にすすむかもしれない	(	1	2	3	4	5	)
7 困ったときにはいつも味方になってくれる人がいる	(	1	2	3	4	5	)
8 人と接するのは苦手なほうである	(	1	2	3	4	5	)
9 自分は周囲の人々から信頼されている	(	1	2	3	4	5	)
10 自分の言いたいことをうまく伝えることができる	(	1	2	3	4	5	)
11 自分は集団やクラスの中で孤立しやすい	(	1	2	3	4	5	)
12 他人のことをあまり信用していない	(	1	2	3	4	5	)
13 自分は「自分」が好きである	(	1	2	3	4	5	)
14 これからの社会・時代を生きていく自信がある	(	1	2	3	4	5	)
15 精神的なストレスに弱い	(	1	2	3	4	5	)
16 生きていても今後よいことはあまりないだろうと思う	(	1	2	3	4	5	)
17 身体的な健康には自信がある	(	1	2	3	4	5	)
18 死んでしまいたいと思いつめることがある	(	1	2	3	4	5	)
19 朝起きるのがとてもつらい	(	1	2	3	4	5	)

Oct. 2010 2009年度 学生生活アンケートにおける阪南大学新入生の心理的特徴について

- 20 昼間、眠くてしかたがない日が多い・・・・・・・・・・ ( 1 2 3 4 5 )
- 21 わずかなことで疲れやすい ( 1 2 3 4 5 )
- 22 十分に眠ることができない ( 1 2 3 4 5 )
- 23 他人の視線が気になる ( 1 2 3 4 5 )
- 24 やる気がまったく出てこない ( 1 2 3 4 5 )
- 25 面倒なことが多すぎていやになる・・・・・・・・・・ ( 1 2 3 4 5 )
- 26 気分には上下の波がありすぎる ( 1 2 3 4 5 )
- 27 経済的な心配がつきない ( 1 2 3 4 5 )
- 28 いつも憂鬱（ゆううつ）な気分である ( 1 2 3 4 5 )
- 29 親との関係はうまくいっている ( 1 2 3 4 5 )
- 30 大学のクラブやサークルに入りたい（入った）・・・・・・・・ ( 1 2 3 4 5 )
- 31 アルバイトをしないと生活が苦しい ( 1 2 3 4 5 )
- 32 異性や恋愛への関心がある ( 1 2 3 4 5 )
- 33 夢中になってできるような好きなことがある ( 1 2 3 4 5 )
- 34 どんな職業につきたいかだいたい考えている ( 1 2 3 4 5 )
- 35 この大学でがんばれば自分の希望する職業につけるだろう・・・・ ( 1 2 3 4 5 )
- 36 将来に役立つような資格をとれるようがんばりたい ( 1 2 3 4 5 )
- 37 この大学を4年間で卒業する自信がない ( 1 2 3 4 5 )
- 38 食事の量や回数が不規則・不安定である ( 1 2 3 4 5 )
- 39 食事や体型のことにひどく気をつけている ( 1 2 3 4 5 )
- 40 学生相談室を利用することには抵抗感がある・・・・・・・・ ( 1 2 3 4 5 )
- 41 あなたの所属する学科はどれですか ( 1 経済学科 2 流通学科 3 経営情報学科  
4 国際コミュニケーション学科 5 国際観光学科 )
- 42 あなたの性別を回答してください ( 1 男性 2 女性 )
- 43 あなたの現在の住居を回答してください ( 1 自宅 2 自宅以外[下宿] )
- 44 あなたは留学生ですか ( 1 はい[留学生] 2 いいえ )

- 45 学生相談室から、あなたに連絡してもいいですか？以下にチェックしてください。  
( 1 連絡してもかまわない 2 どちらでもいい 3 連絡してもらいたくない )

※ご協力ありがとうございました。阪南大学：学生相談室